

令和8年産

白大豆・黒大豆(早生・丹波)・大納言小豆

栽培申込書・栽培暦・ 資材申込書

各申込書の
提出期日

令和8年5月8日(金)まで

経営理念

私たちは、**人**と**自然**とのかかわりを大切にし
食を守り、**地域**に愛される**JAグリーン近江**をめざします。

JAグリーン近江農業協同組合

発行：グリーン近江農業協同組合

監修：滋賀県東近江農業農村振興事務所農産普及課



平素は、JA各事業に対しましてご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、令和8年産白大豆・黒大豆（早生・丹波）・大納言小豆栽培申込書・栽培暦・資材申込書を配布させていただきます。

各申込書の取りまとめを致したく、期日までに各営農振興センターにご提出を頂きますようよろしくお願い申し上げます。

記

提出期日：**令和8年5月8日(金) 厳守**

提出先：各営農振興センター

もくじ

◆黒大豆・大納言小豆の作付け申込みについて	
◆耕起前の雑草対策・排水対策・土づくりの実践	
◆令和8年産 黒大豆・大納言小豆生産契約書 兼 施設利用申込書	
◆令和8年産 大豆出荷予定作付申込書	
◆令和8年産 白大豆(ことゆたかA1号・フクユタカ)栽培こよみ	
◆令和8年産 早生黒大豆栽培こよみ	
◆令和8年産 丹波黒大豆栽培こよみ	
◆令和8年産 大納言小豆栽培こよみ	
◆減収・品質低下原因について	P 1
◆「病虫害対策」について	P 2
◆「水不足」対策について	P 3
◆施肥・丁寧な播種作業(栽植密度・播種深の確保)	P 4～P 5
◆中耕培土	P 6
◆雑草防除	P 7
◆ダイズ病虫害判定シート	P 8～9
◆病虫害防除	P 10
◆収穫作業	P 11
◆大豆小豆用商品一覧	P 12～13
◆複数回防除の実施・アタックショット乳剤の廃版について・ 各種奨励及び決済時期について	P 14
◆大豆跡の水稻栽培に向けて	P 15
◆令和8年産 大豆・大納言小豆種子申込書・肥料・農薬・資材申込書	

黒大豆・大納言小豆の作付け申込みについて

黒大豆・大納言小豆の生産契約書及び施設利用申込書を本冊子に折り込みさせていただきます。作付けを行うにあたり必要事項をご記入の上、期日までに最寄りの営農振興センターへご提出をお願いいたします。

本年度も施設出荷の生産者さまを対象に庭先集荷を計画いたします。

大型車で集荷になりますので横付けできることが原則となり、日程は集荷業者に合わせていただきます。また、集荷費用は出荷量に対し控除いたします。ご使用のフレコンバックは日野CEへ生産者自ら引取りに来ていただきます。

詳細または栽培を希望される方は最寄りの営農振興センターまでお問い合わせください。

施設利用を希望される方は、提出期日を過ぎるとご利用いただけない場合があります。

品種	持込み下限数量	持込み上限数量
丹波黒	1回の持込みに対し、800kg以上	制限なし
早生黒	1回の持込みに対し、800kg以上	制限なし
大納言小豆	制限なし	制限なし

乾燥コンテナが800kgの為、稼働率向上へのご協力をお願いいたします。端量についてはご相談ください。

稼働施設	安土カントリーおよび日野カントリー内（旧育苗センター）で荷受けを行います。
稼働期間 （予定）	令和8年11月16日（月）～令和8年12月25日（金） ・日野カントリー荷受日 月・火・木・金曜日（祝日除く） ・安土カントリー荷受日 火・木曜日（12月のみ） 予定 天候によって柔軟に対応いたします。 ※荷受日の詳細は追って各営農振興センターより連絡いたします。
荷受時間	9：00～16：00
全品目統一 利用料金 （予定）	荷受水分17%未満 25円/Kg（税別） 荷受水分17%以上 30円/Kg（税別） 荷受重量に上記単価を乗じて算出し概算金入金時に控除いたします。
施設搬入カード	黒大豆施設搬入カードは、この申込書を各営農振興センターへ提出いただいた後に発行いたします。
その他	・上記の持込み下限数量と持込み上限数量を遵守して頂きますようお願いいたします。（上限の制限はありません） ・機械選別対応のみとし、JAでは手選別は行いません。 ・ダンプなどでのバラ出荷はできません。 ・施設へ持ち込まれた黒大豆が泥などの汚損粒の場合（要相談）、または異物（白大豆、雑草種子等）混入の場合等、協議し別対応といたします。 ・施設の能力以上の荷受けや機械の故障などにより、急遽調整日を設ける場合があります。

令和8年5月8日（金） 各営農振興センターへご提出ください。

●耕起前の雑草対策・排水対策・土づくりの実践

1. 耕起前の雑草対策

●耕起前に根まで枯らすことが大切です!

- ・耕起だけでは、雑草を十分に枯らせないため、耕起前に茎葉処理剤で根まで枯らし、播種後は、土壌処理剤で新たな雑草の発生を抑えます。

耕起前の茎葉処理剤



耕起・播種



土壌処理剤



以降 慣行管理

2. 排水対策の徹底

《排水を良くして、出芽時から順調な生育ができるようにしましょう》

- ・大豆や小豆は、梅雨時期に発芽して初期生育を迎えるため、雨が降ることを前提にほ場準備を行いましょう。
- ・播種時に土壌が湿りすぎていると、酸素不足で発芽が悪くなります。
- ・排水が悪い（地下水位が高い）田畑では、大豆の根の伸長が悪くなる又は根圏の発育が悪くなるため、夏場の乾燥にも弱くなります。（適正地下水位は生育期間を通じて40～50cm程度が最適とされています。）

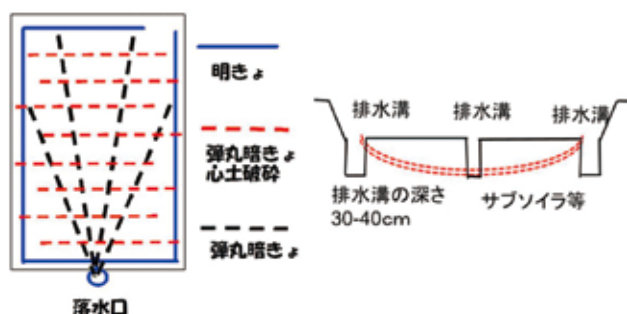
●表面排水の促進 弾丸暗きょ・周囲明きょ（排水溝づくり）は必須!!



▲耕盤破砕（地下排水）



▲明きょ（地表排水）



3. 土づくりの実践（有機物の施用と酸度矯正）

- ・水田転作での大豆や小豆の作付は、連作の有無に関わらず、作付のたびに地力を消耗させ、収量の減少や品質低下が問題となります。
- ・土壌中に有機物が多く地力窒素が高いと根粒菌の着生が増加しますので、堆肥等の有機物を施用し、地力窒素量を向上させることが重要です。

○有機物の投入 牛ふん堆肥1～2 t / 10a 又は 新ふりかけ堆肥eco100kg / 10a
（濃縮堆肥 通常堆肥の約1/10の施用量で腐植が補給できます）

- ・大豆や小豆は好石灰植物のため、他の作物に比べ石灰吸収量が多いのが特徴です。作付前に土壌改良資材を投入し、根粒菌の活動を活発にする上でも酸度の矯正は重要となります。

○土壌改良資材投入 土力じまん又はグリーンパーフェクト100kg / 10a(白大豆・小豆)
pH6.0～6.5に調整
土力じまん又はグリーンパーフェクト160kg / 10a(黒大豆)
pH6.0～7.0に調整

減収・品質低下原因について

①開花期以降の高温・干ばつによる水ストレス

- ・開花期の高温・干ばつで花数が抑制される。
- ・開花期から子実肥大期の高温・干ばつで着莢数が減少し、子実肥大が抑制される。

**令和7年
注意報発令**

②カメムシ類による吸汁被害

- ・近年カメムシ類の越冬数が多く、大豆栽培期間中もカメムシ類は多発生した。特に、子実肥大期以降、防除回数が少ないほ場では、ミナミアオカメムシの発生が多くみられた。
- ・子実肥大期にカメムシ類の吸汁被害を受けた大豆は、子実肥大が抑制される。

③タバコガ類 ハスモンヨトウによる食害

**令和7年
注意報発令**

- ・「ハスモンヨトウ」による葉の食害が多く、葉脈や葉柄を残して葉を食べ尽くされたほ場があった。
- ・鱗翅目の発生が多く被害が大きくなったほ場では、花蕾や子実への被害も増え、着莢数の減少や子実肥大が抑制された。



令和7年産大豆については、品種を問わず小粒傾向で「カメムシ被害粒」や「紫斑粒」「褐斑粒」などが多かった



↑ 青立ち症状



↑ ミナミアオカメムシ
若齢幼虫: 黒色 成虫: 緑色

「病害虫対策」について

◆防除の徹底

- 大豆は子実害虫の食害による減収や品質低下が著しく薬剤防除は必要不可欠な作業です

近年の病害虫の発生状況から、1～2回の省力的な防除では、収量が確保できなくなっています。

以下の例を参考に、栽培暦どおりの防除を徹底しましょう



白大豆防除 優良防除の例

1回目 (混用)	開花期	(葉を食べる虫) (子実を加害する虫)	例) グレーシア乳剤 例) スタークル液剤10
2回目 (混用)	若莢期	(紫斑病対策) (カメムシ類)	例) ファンタジスタフロアブル 例) キラップフロアブル
3回目 (混用)	莢伸長期	(紫斑病対策) (カメムシ類)	例) ファンタジスタフロアブル 例) スタークル液剤10
4回目	子実肥大期	(カメムシ類)	例) キラップフロアブル

モザイク病による「褐斑粒」

・病徴と被害

アブラムシ媒介によるウイルス病

葉に縮れやモザイク症状を生じる「モザイク病」となり、莢の茶しみ症や子実（豆）の褐斑の原因にもなり、減収・品質の低下を招きます



・防除対策

ウイルス病には農薬が効かないので、媒介するアブラムシ防除を徹底する
種子のクルーザーMAXX塗抹処理



「紫斑病」

・病徴と被害

莢が伸長する頃から葉に紫色がかかった赤褐色の病斑を形成しますが、特徴のある病斑ではないので、はっきり診断するのは困難です

子実（豆）に紫色の斑紋が現れ、品質の低下を招きます



・防除対策

種子のクルーザーMAXX塗抹処理

着莢期～の防除（ファンタジスタフロアブル、トライフロアブル）

「水不足」対策について

水ストレス・干ばつ対策

◆うね間・明渠への「かん水」

- ・大豆は生育中期以降になると水分を必要とします
開花期以降に晴天が1週間程度続けば、うね間明渠に「かん水」を行いましょう
- ・入水は3回程度に分けて、水が滞留しない様に明渠は必ず排水口に繋ぎましょう
入水後、水が水尻に到達したら入水を止める

◇注意点◇

高温時に実施すると根痛みを起こすため、

必ず夕方から早朝にかけて実施する

大豆と共に雑草の勢いも増すため、大豆の生育が弱いほ場や、欠株部分の**雑草繁茂に注意**する



↑ 明渠を使った「かん水」↓



◆暗渠の閉鎖による干ばつ対策

- ・適切な排水対策を施したほ場では、開花期から10月中旬まで本暗渠の排水弁を閉じることで地下水位と土壤水分を高く維持できる
特に干ばつ年には、暗渠を閉じたほ場で、大豆の全重や百粒重が増加し、子実重が10%程度増える

◇注意点◇

地下水位が高い、あるいは、排水性が悪く湿害が生じたほ場での実施は避ける

地表面での滞水を避けるために、明渠を排水口に繋げておく

大雨等で地下水位が上昇した際は、安全を確保した上で、速やかに暗渠を開放し排水に努める



暗渠排水栓



暗渠排水口

●施肥

大豆が吸収する窒素の約60%を根粒菌による窒素固定が占めます。窒素の投入量が少なすぎると、根粒菌が着くまでの初期生育が劣り、減収につながります。また、元肥では、窒素とあわせてリン酸とカリが必要です。元肥は必ず施用しましょう。

追肥については、着莢数確保を有効にするため開花期に追肥をしましょう。（元肥一発型を施用した場合は不要です。）

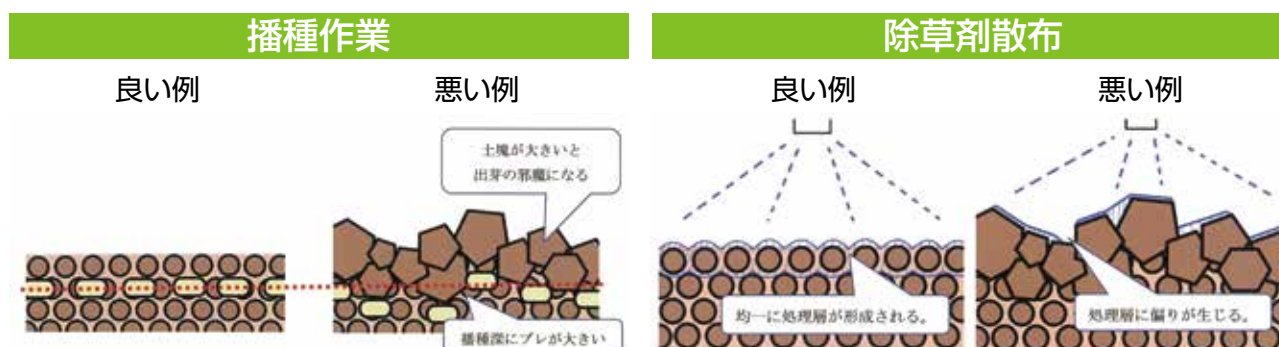
●丁寧な播種作業

《耕起・播種・除草剤散布は1日の作業で行いましょう》

1. 耕起・碎土・整地

- ・耕起は、2cm以下の土塊径割合が70～80%程度を目安に碎土を行います。
- ・麦跡で大豆・小豆栽培を行う場合は、麦稈は重要な有機質資源であるため全面にすき込みます。ただし、麦稈の土壌混和が不十分になると播種精度が低下するので、麦収穫時のコンバインの刈高や、麦わらの裁断長など播種作業に支障がないように留意します。

●良質な播種床作りから・・・下層は粗く、表層は細かく耕す!!
発芽率アップ、土壌処理剤の「処理層」が均一に保たれる



2. 種子更新

- ・自家採種を続けると、品種特性が失われ子実が小粒になりやすく品質が低下しますので必ず種子更新を行いましょう。

3. 種子消毒

- ・紫斑病の対策と鳥害防止のため、種子消毒を行いましょう。

薬剤名	病害虫	処理方法
クルーザーMAXX	紫斑病・黒根腐病・茎疫病・苗立枯病・アブラムシ類・タネバエ・ネキリムシ類・フタスジヒメハムシ・リゾクトニア根腐病・鳥害防止（ハト・カラス）	乾燥種子 1 kg当たり 原液 8 ml 塗抹
キヒゲンR-2フロアブル	紫斑病・苗立枯病・タネバエ・鳥害防止（ハト・カラス）	乾燥種子 1 kg当たり 原液 20 ml 塗抹

ご相談は各営農振興センターへお問い合わせください。

●丁寧な播種作業

※播種前は品種名を確認ください!! 混種に注意

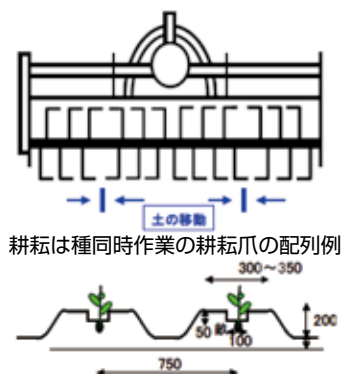
4. 栽植密度と播種量

- ・収量を確保するために栽植密度は白大豆で10aあたり15,000本を目標。
早生黒大豆で10aあたり3,000本を目標。丹波黒大豆で10aあたり1,500～2,200本を目標。大納言小豆で10aあたり8,000本を目標。
- ・播種の深さは3～4cmの範囲で作業しましょう。(乾燥が続く場合にはやや深播する)

《白大豆》栽植密度 うね立同時播種で湿害回避

品種	播種適期	播種量(10aあたり)
ことゆたかA1号	6月中旬～7月下旬	4～6kg
フクユタカ	7月上中旬	4～6kg

1株播種粒数	条間	株間
1粒播	75cm	9cm
2粒播	75cm	18cm



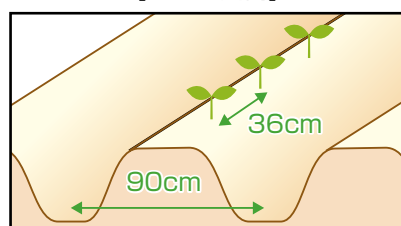
耕耘は種同時作業の耕耘爪の配列例

※狭畦密播栽培の場合
(ことゆたかA1号)
・10aあたり22,000本
・条間30～40cm 株間15cm
播種量6～10kg/10a

《黒大豆》栽植密度

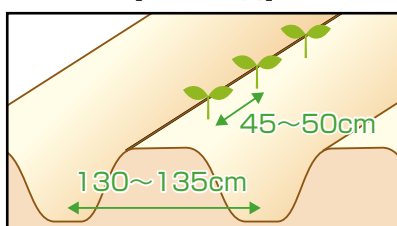
品種	播種適期	播種量(10aあたり)	1株播種粒数	うね幅	株間
早生黒大豆	6月中下旬	2kg	1粒播	90cm	36cm
丹波黒大豆	6月中下旬	1.5～2kg	1粒播	90～130cm	50cm

【うね立図例】



早生黒大豆

【うね立図例】



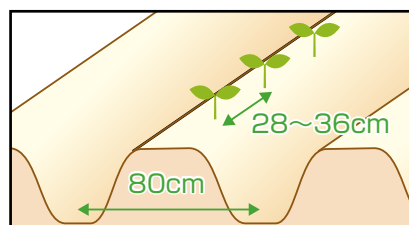
丹波黒大豆

※丹波黒大豆の苗定植の場合
初生葉が見えはじめたころ。
(播種後12～15日程度)

《大納言小豆》栽植密度

播種適期	1株播種粒数	うね幅	株間	播種量(10aあたり)
7月下旬	2粒	80cm	30cm	3kg

【うね立図例】



※播種方法・・・1穴2粒播きにして、間引きしない。
1株1～2本仕立てにする。

●中耕培土

●除草効果を高める

●土壌の膨軟化による通気性の改善

●不定根の発生促進

- ・土を大豆の株元に寄せることで、不定根が促されます。
- ・不定根の発生は、養水分吸収を増大し、生育促進します。
(不定根：根以外の部分で茎から2次的に発生する根のこと。)

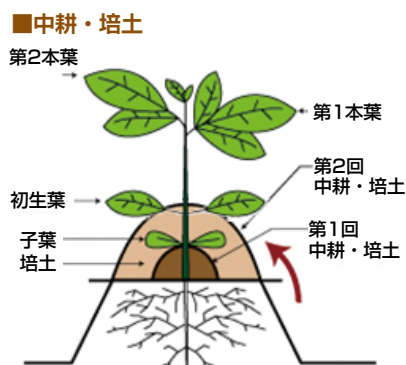
●排水性向上による湿害防止

●開花期のうね間かん水が容易



※1回目の中耕培土は本葉2～3枚発生時頃。

※2回目の中耕培土は本葉4～5枚発生時頃。



コンバイン走行の安定性が確保される培土の高さは、収穫時期で10cm程度であるため、2回目終了時の培土の高さを15cm程度にとどめておくことが望ましい。

中耕培土のイメージ



※干ばつ時のうね間かん水(英数確保と青立ち防止)

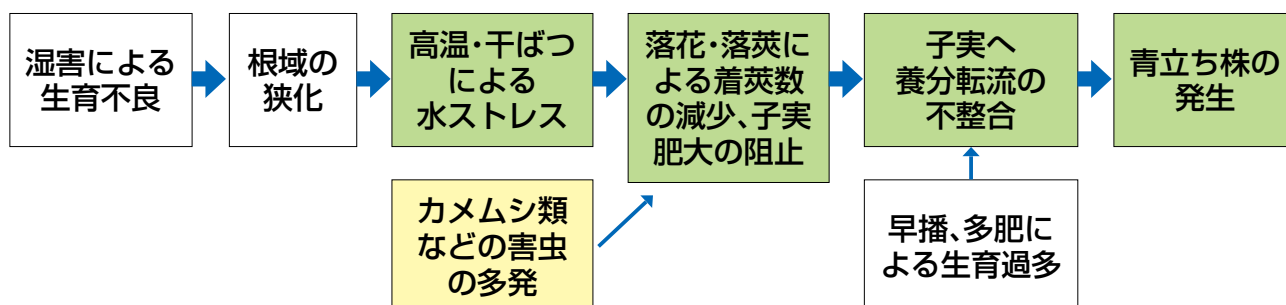
- ・大豆は生育中期以降になると水分を多く必要とします。
- ・開花期に土壌水分が不足すると莢の付きが悪くなって減収を招くばかりか、大粒率や百粒重も低下します。

「うね間かん水の判断の目安」

- ・土が白く乾き、葉が反転してきたら、数回に分けて徐々にうね間かん水を行います。
- ・開花以降に晴天が7～10日程続けば、うね間かん水を行います。



※青立ち発生メカニズム

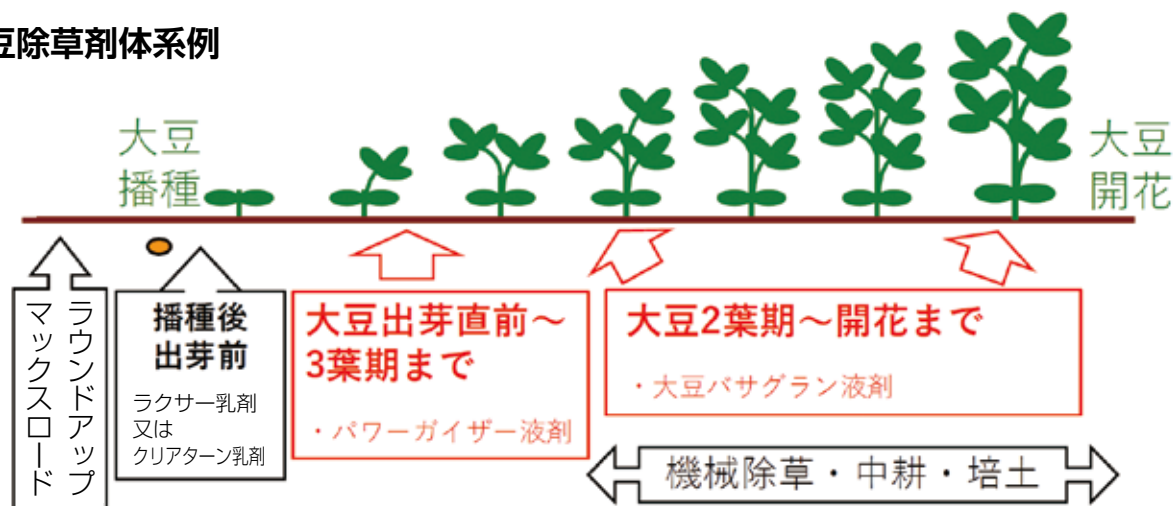


●雑草防除（白大豆・黒大豆）

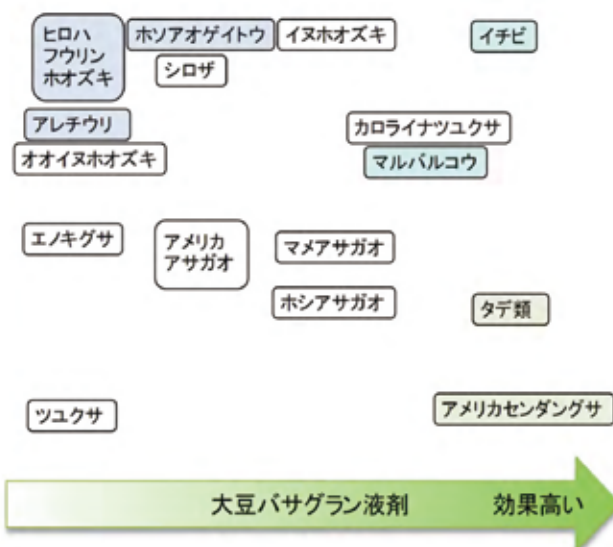
※汚損粒の発生は雑草と一緒に収穫することで起こります!!

- 除草剤は容器の記載事項をよく読んで適正に使用すること
- 外来雑草（難防除雑草）は、入れない・広げないが基本
- 早期発見・早期防除 発見したら少ない内にすぐに防除

大豆除草剤体系例



ポルトフロアブル
＜イネ科雑草の3～10葉期＞ 収穫30日前まで



イヌホオズキ



タデ類



フウリンホオズキ



マルバルコウ

診断に基づく大豆栽培改善技術導入支援マニュアル大豆栽培における難防除雑草の防除より参照

大豆（白・黒）及び小豆農薬使用注意

農薬名	パワーガイザー液剤	ポルトフロアブル	大豆バサグラン液剤
大豆（白・黒）	○	○	○
小豆	○	○	×

注意：パワーガイザー液剤：小豆は、出芽直前～出芽前期まで（雑草発生始期～発生前期）
ポルトフロアブル：小豆は、イネ科雑草3～8葉期まで（収穫50日前まで）スズメノカタビラを除く

農薬の使用の前には、ラベルをよく読んで適正に使用しましょう。

ダイズ病害虫判定シート

－ほ場で主要病害虫を見分ける－

主に葉を加害する害虫

ハスモンヨトウ（老齢幼虫40mm）

若齢幼虫は集団で葉裏を加害し、白変葉を生じさせる。中齢以降の幼虫は分散し、葉を暴食する。幼虫にはほとんど毛がなく、頭部の後方の節に、1対の黒斑が目立つ。



若齢幼虫の加害
によってできた白変葉



密生する
若齢幼虫



老齢幼虫



様々な体色の幼虫

タバコガ類（老齢幼虫40mm）

葉やさやを食害する。局地的に大発生することがある。幼虫の体色は緑色、淡黄褐色、茶褐色など様々。体節ごとに短い毛が生えているのが特徴。

ウコンノメイガ（老齢幼虫20mm）

葉を巻いたり、数枚を重ね合わせて、その中に潜む。さやや子実は加害しない。



巻かれた被害葉



幼虫



幼虫

ヨモギエダシャク（老齢幼虫60mm）

尺取り型の歩行をする。小枝に擬態するため、見逃しやすい。

マメドクガ（老齢幼虫40mm）

若齢幼虫は集団で葉裏を加害し、中齢以降は分散する。背面に暗褐色の毛束がブラシ状に生えている。



老齢幼虫

密生する
若齢幼虫

コガネムシ類

成虫が網目状に葉を食害する。滋賀県では主に以下の2種が多い。



食害痕



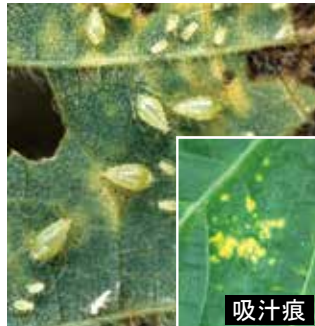
マメコガネ

(成虫12mm)



ヒメコガネ

(成虫15mm)



吸汁痕

アブラムシ類（成虫2mm）

葉裏に寄生し吸汁する。加害部位はくっきりと黄化することがある。各種ウイルス病を媒介する。



吸汁により黄変した葉

葉裏への寄生
(オレンジ色の点ハダニ)

顕微鏡による
拡大像

ハダニ類（メス成虫0.6mm）

葉裏に寄生し吸汁する。吸汁部位は白点となり、多発生すると黄変した葉が坪状に目立つようになる。

主に葉とさやを加害する害虫

サヤムシガ類

(老齢幼虫13mm)
若葉をつづり合わせて縮れさせ、その中に潜んで食害する。さやも加害する。



さやの被害



つづり合わせ
られた新葉



幼虫



成虫



葉の食害痕

フタスジヒメハムシ（成虫3.2mm）

黄色の甲虫で背面に1対の黒条がある。葉を円孔状に食害し、さやや子実にも被害をもたらす。

主に子実を加害する害虫

マメシンクイガ（老齢幼虫10mm）
さや内に食入し、子実を食害する。
幼虫の体色は乳白色～オレンジ色。



幼虫

**シロイチモジ
マダラメイガ**
（老齢幼虫20mm）
さや内に食入し、子実を食害する。幼虫の体色は緑色または紅紫色。



幼虫

カメムシ類 子実を吸汁加害し、収量や品質の低下をまねく。青立ちの一因ともなる。



成虫



幼虫



成虫

アオクサカメムシ
（成虫15mm）
体全体が緑色だが、一部胸部に黄帯がある個体もいる。

イチモンジカメムシ
（成虫11mm）
体は淡黄緑色で、胸部に紅色または白色の帯が1本ある。



成虫

幼虫

ブチヒゲカメムシ
（成虫13mm）
体は赤褐色で、触角や腹部外縁が白と黒のまだら状となる。



若齢幼虫



終齢幼虫



成虫

ミナミアオカメムシ
（成虫15mm）

ダイズの病害

べと病

葉表に不整形な黄白色の病斑ができる。その裏には綿毛状の菌糸が認められる。子実にも感染する。



葉表の病徴



葉裏の病徴

葉焼病

葉に黒褐色の小斑点ができ、その周囲は黄化する。葉裏の病斑中央部が盛り上がる。



立枯性病害 一見同じような被害だが、病原菌は複数存在する。



被害株地際の病斑



被害株地際の菌糸と菌核



黒根腐病

下葉が黄化する。地際に茶褐色の病斑ができ、その上に赤色の小点が形成されることがある。

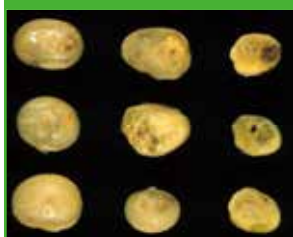
茎疫病

茎に地際部から上方に向かって黒褐色の病斑が伸びる。葉の黄化や立枯れをおこす。

白絹病

被害株の地際～地下部には白色絹糸状の菌糸が認められる。粟粒状の菌核が付着することもある。

被害粒から見分ける病害虫



カメムシ類による被害

フタスジヒメハムシによる被害



紫斑病

子実に紫色の斑点ができ、品質低下を招く。立毛時にも葉や茎に発病するが、他の病害との区別が難しい。

モザイク病による褐斑粒

アブラムシ媒介によるウイルス病。葉には萎縮やモザイク症状、さやには茶褐色の斑点を生じる。



制作 滋賀県病害虫防除所

●病害虫防除

「紫斑病」

- 種子伝染を防ぐため、健全な種子を使いましょう。
- クーラーMAXXを処理すると、初期生育が良くなるとともに、初期の伝染のリスクが減ります。

「白絹病」

- 本病は糸状菌による病害です。本病は、梅雨時期と8月下旬～9月といった気温がやや低い時期に発病が多いです。
- 発生を少なくするには、うね立て栽培や暗渠、弾丸暗渠、明渠などにより排水性を良くすることが効果的です。
- 土壌pHが6.5を超えると菌核の発芽が抑制されるので、土壌のpHを高めましょう。
- 発見したら、根から抜取ってほ場から持ち出し焼却し、直ちに防除が必要です。

「茎疫病」

- 土中に残った卵胞子が伝染源となり、発病します。
- 発生を少なくするには、うね立て栽培や暗渠、弾丸暗渠、明渠などにより排水性を良くすることが効果的です。
- 土壌pHが低いと発生しやすいので、石灰でpH6.5程度に酸度矯正しましょう。

「子実害虫の防除」

- 子実害虫の多くは莢の付近にいるため、葉に覆われた莢にも殺虫剤がかかるようにたっぷりと散布します。
- 液剤を使う場合は、150～200ℓ / 10a用意します。
- 殺虫剤散布時期
 - 1回目（開花終期から莢伸長期）
ダイズサヤタマバエ
 - 2回目（子実肥大初・中期）
シロイチモジマダラメイガ、マメシクイガ、カメムシ類
 - 3回目（子実肥大中・終期）
シロイチモジマダラメイガ、マメシクイガ、カメムシ類
- ハスモンヨトウを発見したら直ちに防除しましょう。

※アズキノメイガ【フキノメイガ】

アズキでは芽、茎、葉柄、莢内豆を食害します。茎食入部位から折れて上部が枯れます。食入茎や莢からは穿孔粉が出るので被害部は分かります。必ず防除しましょう。



紫斑病



白絹病



茎疫病



カメムシ類 成虫



ハスモンヨトウ



アズキノメイガ

●収穫作業

「収穫時期の判断」

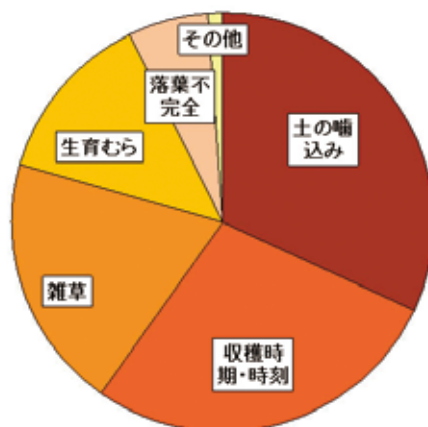
- 収穫適期は、子実水分が20%以下、莖水分が50%以下となり、莢を振るとカラカラと音がする頃（成熟期）です。
- 収穫時期が早いと、汚損粒が発生しやすくなります。
- 収穫時期が遅いと、しわ粒が増加したり、自然落粒による損失が多くなります。
- 収穫時間は、晴天の場合は10時頃から16時頃が最良です。
- 前日が晴れて当日曇りの場合は、11時頃から15時頃に行います。
- 前日まで降雨が続いた場合は、当日晴れても収穫が不可能な場合があります。

「大豆コンバインの準備」

- 収穫作業の前に大豆仕様部品の装着と清掃を行い、機械を大豆用に調整します。
- 機械内に汚れがあると汚損粒の原因になるので、掃除口等を開けて清掃します。
- 異なる品種や異なる作物を収穫する場合は、搬送経路を中心に清掃します。
- 2番昇降機や排出オーガ受継部等には残留しやすいので、十分清掃します。
- 品種の替わり目は最初の排出時に10～30kg程度分別します。
(白大豆・黒大豆の替わり目には、特に注意してください。)

「汚損粒の発生防止」

- 土の噛込みを防止するためには、うね高さをできるだけ一定に揃え、倒伏が少なく、最下着莢位置が高くなるように栽培します。
- 収穫作業中にヘッダ部に土が入ったら、速やかに作業を停止し、土を取り除きます。
- 大豆の水分が高い朝方および夕方の収穫は、機械内に塵や泥が付くやすく、それが大豆に付くので水分の高い時間帯の収穫作業は避けます。
- 今一度、収穫前に雑草が生えていないか確認して頂き、生えていたら抜き取りを行い、きれいなほ場で収穫作業を行います。



※きれいなほ場で収穫を迎えましょう。

※適期収穫を心がけましょう。



大豆小豆用商品一覧

土づくり資材



新ふりかけ
堆肥eco



土力じまん

培 土



与作 N150



スーパーミックス

元肥一発肥料



大豆UF2200



黒豆いちばん



環境こだわり
大豆一発



元肥・追肥



大豆専用化成
550



オールアッシュ
PK455



大豆有機
S288



有機追肥
S4号



亜りん酸粒状
1号

耕起前・畦間除草剤

ラウンドアップマックスロード



5.5L



20L



200L

種子消毒

クルーザー
MAXX



240 mL

キヒゲンR-2
フロアブル



200 mL

大豆小豆用商品一覧

除草剤

クリアターン細粒剤F・乳剤



3 kg

12 kg

500 mL

2 L

トレファノサイド粒剤2.5



3 kg

パワーガイザー液剤



500 mL

3 L

ラクサー粒剤・乳剤



3 kg

12 kg

500 mL

5 L

大豆バサグラン液剤



1 L

ポルトフロアブル



500 mL

2.5 L

殺虫殺菌剤

トライトレボン
粉剤



3 kg

スミトップM
粉剤



3 kg

殺菌剤

トップジンM
粉剤DL



3 kg

トップジンMゾル



500 mL

5 L

ファンタジスタ
フロアブル



500 mL

リゾレックス
水和剤



500 g

殺虫剤

トレボン粉剤・乳剤



3 kg



500 mL

プロフレアSC



500 mL

ロムダンフロアブル



500 mL

プレバソンフロアブル5



500 mL



5.5 L

スミチオン乳剤



500 mL

グレースシア乳剤



500 mL

5 L

スタークル粉剤



3 kg

スタークル液10



500 mL

10 L

キラップ粉剤DL



3 kg

キラップフロアブル



500 mL

5 L

複数回防除の実施

近年の高温の影響もあり、病害虫による被害が増加しています。害虫による莢数の減少被害は減収の要因になるため、複数回防除を検討をし、品質・収量を確保しましょう。特に近年は米、大豆の大型カメムシ被害が目立ちます。チョウ目害虫だけでなく、カメムシ類の防除も重要となります。

無人航空機による散布例 ※500m l 規格の予約単価で計算

対象病害虫	品目	予約単価	倍率	単価/10a
ハスモンヨトウ等	プロフレアSC	9,651	32倍希釈	483円
ハスモンヨトウ等	プレバソフフロアブル5	6,246	32倍希釈	312円
ハスモンヨトウ等	グレーシア乳剤	11,252	16倍希釈	1,125円
カメムシ等	スタークル液剤10	2,968	8倍希釈	594円
カメムシ等	キラップフロアブル	4,598	16倍希釈	460円
紫斑病	ファンタジスタフロアブル	6,450	16倍希釈	645円
紫斑病	トップジンMゾル	2,706	8倍希釈	541円

グレーシア乳剤

2025年10月に空中散布の適用拡大が追加されました。チョウ目害虫に速効性で効果があり、食害される前に防除できます。また、浸透性があるため、葉裏に密生する若齢幼虫にも効果があります。

アタックショット乳剤の廃版について

昨年まで使用していた除草剤「アタックショット乳剤」が廃版のため使うことができません。本葉2葉期以降に使用できる広葉雑草の除草剤は「大豆バサグラン」しかありません。生育期に雑草が発生しないよう、初期の段階で雑草を抑えることが重要となります。

【ラクサー 土壌処理除草剤】

粒剤	標準量	5kg/10a	登録最大量	8kg/10a
乳剤	標準量	500ml/10a	登録最大量	800ml/10a

各種奨励及び決済時期について

大口取引奨励

予約購入金額より、下記の割合にて奨励を行います。

ご購入金額	割合
100万円以上200万円未満	0.5%
200万円以上300万円未満	1.0%
300万円以上400万円未満	1.5%
400万円以上500万円未満	2.0%
500万円以上	2.5%

【支払予定日】 令和9年2月末

引取奨励

予約申込された商品をJAまで引取いただいた場合、各規格毎に値引を行います。

【肥料農薬引取価格について】

土づくり肥料及び育苗培土 → 1袋につき20円引き
注1)フレコン規格は20kg換算します。
 肥料(15kg・20kg) → 1袋につき30円引き
 農薬(通常規格) → 1袋につき15円引き
 農薬(10kg以上・2L以上) → 1袋につき30円引き
注2)ラウンドアップ200Lは対象外です。

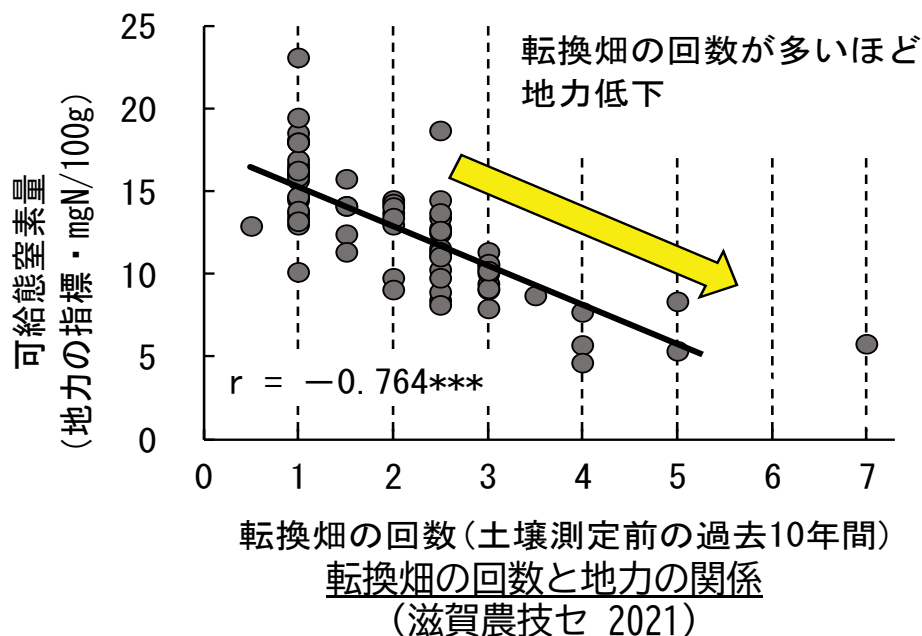
白黒大豆小豆資材決済日

【代金決済】 令和9年1月末

●大豆跡の水稲栽培に向けて

●大豆栽培による地力の低下

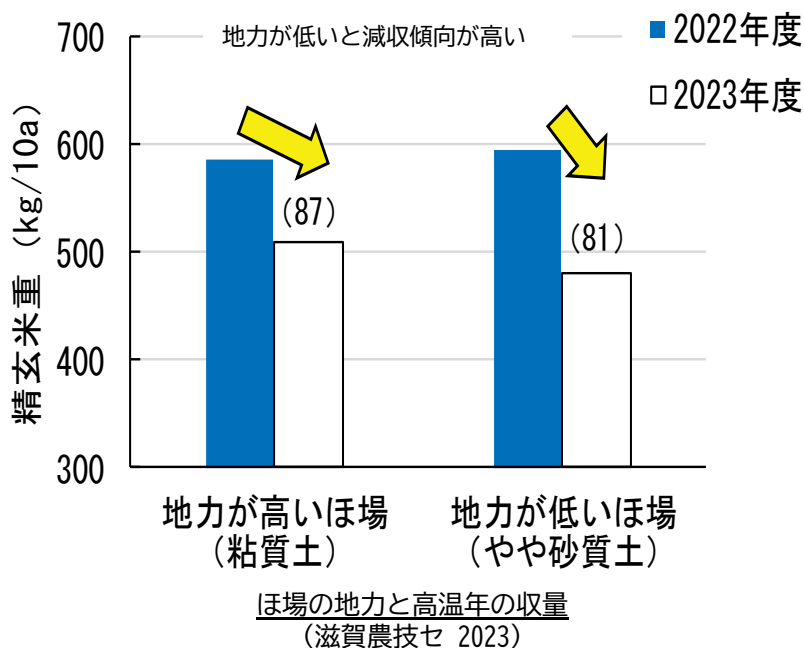
滋賀県の大豆栽培は、水田転換畑による栽培がほとんどですが、転換畑による栽培回数が増え、さらに気温の上昇により土壌中の有機物の分解が進むことで消耗し、地力は低下傾向です。



●水稲栽培に向けて土づくり

近年は水稲栽培において地力の高低で猛暑年における影響が変化します。

大豆跡であっても猛暑年における収量確保には、堆肥等の有機物を用いた地力向上対策が重要です。



土壌分析を実施し、最後まで養分供給のできる
土づくり・根づくりをしましょう！！



お問い合わせ・ご相談は

部 署	TEL	FAX
近 江 八 幡		
近 江 八 幡 営 農 振 興 セ ン タ ー	33-6705	33-6715
ジ ェ ネ ッ ト 八 幡	33-6300	33-6307
大 中 の 湖 営 農 振 興 セ ン タ ー	46-3100	46-3168
ジ ェ ネ ッ ト 大 中 の 湖	46-8003	46-3315
東 近 江		
東 近 江 中 央 営 農 振 興 セ ン タ ー	22-6620	22-6622
ジ ェ ネ ッ ト 東 近 江		
南 部 配 送 セ ン タ ー (営 農)	27-1201	27-0977
東 近 江 湖 辺 営 農 振 興 セ ン タ ー	42-2133	42-8155
日 野		
日 野 営 農 振 興 セ ン タ ー	52-2212	53-0987
ジ ェ ネ ッ ト 日 野		
竜 王		
竜 王 営 農 振 興 セ ン タ ー	58-3767	58-2705
ジ ェ ネ ッ ト 竜 王		
八幡駅前事業所		
経済事業部 経 済 課	33-8427	33-4560
営農事業部 営 農 振 興 課	33-8453	33-4566
農産販売促進課	33-8452	33-4566
施設管理課	33-8458	33-8429
特 産 課	33-8454	33-8429
き て か ～ な	32-0111	32-0112